

報道関係者各位

平成 18 年 6 月 8 日

森ビル株式会社

森ビル株式会社 平成 18 年 3 月期決算のお知らせ

森ビル株式会社の平成 18 年 3 月期の決算がまとまりましたのでお知らせいたします。

なお、詳細は添付資料をご参照ください。

連結決算のハイライト

■連結業績概要

	H17. 3期	H18. 3期	(単位：百万円)	
			増減	(%)
営業収益	155,477	152,763	△2,714	(△1.7%)
営業利益	33,912	37,654	3,742	(11.0%)
経常利益	18,409	22,960	4,551	(24.7%)
当期純利益	5,625	11,101	5,476	(97.3%)

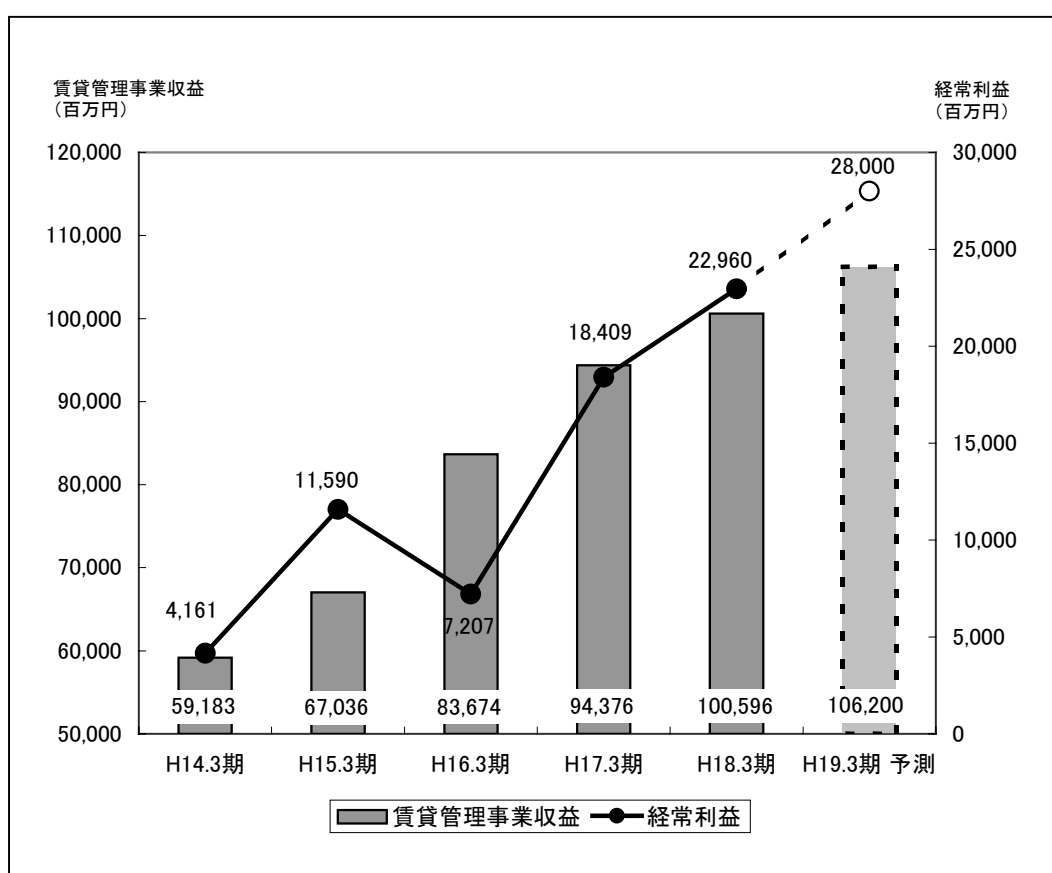
経常利益は過去最高益を計上

- 当期は、「営業収益」は 1,527 億円（前期 1,554 億円）を計上。「営業利益」は、「賃貸管理事業収益」の増加などにより、前期比 37 億円の増益で 376 億円を計上、「経常利益」は同比 45 億円（24.7%）増の 229 億円となり過去最高益を計上。
- 「当期純利益」は、減損会計の早期適用による特別損失計上を行った前期に比して 54 億円（97.3%）増の 111 億円となり大幅増益。
- 「賃貸管理事業収益」は、基幹ビルである六本木ヒルズやアークヒルズなどへの強い需要とともに、商業施設においても、六本木ヒルズの増収および表参道ヒルズ（東京都渋谷区、商業、住宅）の新規稼働が寄与、また、前期竣工した「オランダヒルズ」（東京都港区、オフィス、住宅、店舗）の通期稼働などにより、結果として、前期比 62 億円増の 1,005 億円を計上。
- 「不動産販売事業収益」は、79 億円を計上。
- 「請負工事業・設計監理事業収益」は、表参道ヒルズ等の内装請負工事、設計監理業務受託が寄与、既存ビルの高稼働により内装工事受注機会減少の影響があるものの 86 億円を計上。
- 「ホテル事業収益」は、グランドハイアット東京が引き続き高稼働を維持し、前期比 6 億円増の 150 億円を計上。
- 「ソフト事業収益」は、六本木ヒルズ来街者の安定的な推移に伴い、展望台・ギャラリー・ツアー・アカデミー等が堅調に業績を維持し 54 億円を計上。
- 「関連事業収益」は、前期よりセグメント表記変更の影響があるものの 149 億円を計上。

■次期の連結業績見通し

	H18. 3期	H19. 3期	増減	(単位：百万円) (%)
営業収益	152,763	169,000	16,237	(10.6%)
営業利益	37,654	42,000	4,346	(11.5%)
経常利益	22,960	28,000	5,040	(21.9%)
当期純利益	11,101	14,000	2,899	(26.1%)

◇賃貸管理事業収益および経常利益の推移



<添付資料>

1. 森ビル株式会社 平成 18 年 3 月期決算（連結決算報告書、単体決算報告書）
2. 平成 18 年 3 月期決算概要

※ なお、当資料は、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会に配布しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

森ビル株式会社 広報部

TEL:03-6406-6606 FAX:03-6406-9306 E-mail:koho@mori.co.jp